

愛敬 重之

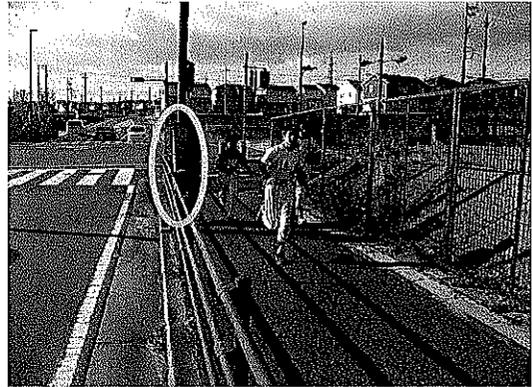
スポーツ少年団駅伝大会・市民駅伝コース確認

12月の第4回定例議会での一般質問に際しまして、両駅伝大会の現状調査させていただきました。ご報告させていただきます。

スポーツ少年団駅伝競走大会



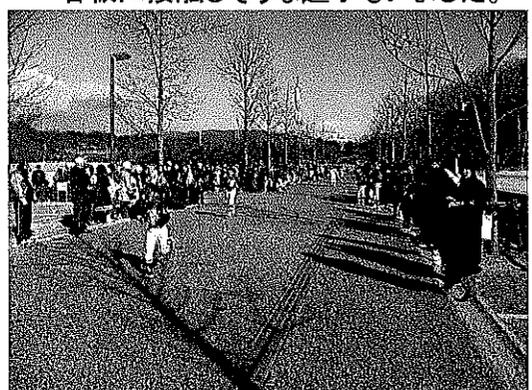
桑員陸協の提案もありトラックを2周回す事により公園外に出る際、90°コーナーでの接触・転倒を防いでいます。しかし、集団の固まりが縦長にならない所では下図のようにコースアウトギリギリです。



看板に接触しそうな選手もいました。



歩道で駅伝競走は応援も出来ません。



本来の姿です。公園内コースですと応援もできます。子供も安全に競技できます。

四日市中央緑地公園で開催されております県中学校駅伝競走大会がよい例です。



トラック周辺の芝が剥げる防止策として、公園を周回出来るコース(通路)に人工ウッドチップ通路を(トラック1レーン～2レーン分)

設ける事によりコースが分かりウォーキング・ジョギング実施者に、達成目標が生まれます。距離表示も必要かと思います。

トイレも特に女子トイレが少なくトラック第4コーナー付近にも男女トイレを設置する必要もあると思います。グラウンドゴルフの高齢者も使用頻度として多くなります。

桑名市民駅伝競走大会

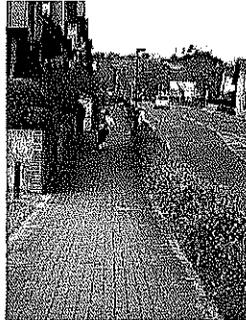
同時に、午後1時30分スタートで桑名市民駅伝競走大会が開催されました。



47チームの参加は大変喜ばしいです。



やはり歩道での大会でした。
下りからの90°コーナーです。
歩道ではかなりギリギリです。



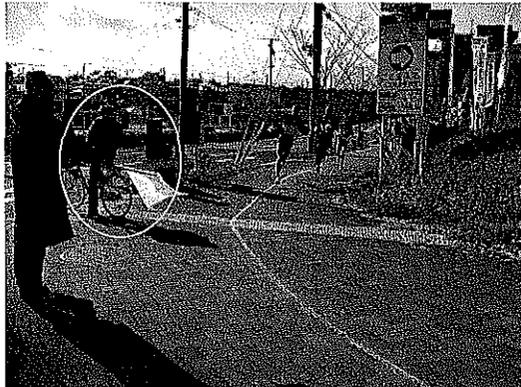
市民駅伝ですので力の差もあり、総合運動公園周辺の坂はかなり閉会式を遅らせました。

トップ⇒48' 48"

最下位⇒1' 21' 14"

区間賞があるので、最下位がゴールするまで集計が出来ません。(大会では歩いている方も……)

コースが平坦であれば、こんなに差が出ず、大会も盛り上がり終了できます。



歩道での開催でしたので、一般者との接触も考えられます。

店の前、交差通路には補助員も数多く配置しています。

総合運動公園内周回道路があれば、この数多くの補助員も必要ないです。



歩道ですので、交差する部分に段差・傾斜が見られ、力走はしているのですが、市民駅伝ですので足を取られ、転倒や捻挫等心配されます。

よって、一般市民のウォーキング・ランニング、そして、公園周囲を整備するにも、公園内を回れるコース(園路)は、絶対に必要と考えます。

以上